



稲田小だより

上越市立稲田小学校 (Tel. 025-523-2864) ホームページ <http://www.inada.jorne.ed.jp/>

携帯サイト <http://www.inada.jorne.ed.jp/otayori/i/index.html>

「自分が好き」ー144年目スタートー

校長 斉藤 崇

平成28年度(2016年)、創立144年目の稲田小学校の学校生活がスタートしました。

この3月、82名の卒業生を送り出し、4月に61名の新入生を迎えました。全校児童374名(昨年度比17名減)、16学級(昨年度比2学級減)によるスタートです。

始業式に、子どもたちに二つのことを話しました。一つは、「明るく元気な稲田っ子が育つ、明るく元気な学校生活にしよう」です。明るく元気な稲田っ子とは、合言葉の「い・な・だ」です。



- | | | | |
|---|------------|------|----------------------|
| ① | ..「いつもさわやか | 稲田っ子 | (おはよう・こんにちは・さようなら) |
| ② | ..「なんでも挑戦 | 稲田っ子 | (得意なこと、苦手なことにチャレンジ!) |
| ③ | ..「だいすき友だち | 稲田っ子 | (あなたがいて 私がいる) |

二つ目に話したことは、「いのち」です。「私たち人間が、どんなにお金を出しても、どんなに欲しいと努力をしても得ることができないもの、それは『いのち』です」という話です。このたび、高田公園で起きた痛ましい事故に少しふれて話しました。

1年間、様々な体験を通して子どもたちには、**自ら気づき、考え、実行できる力**をさらに伸ばし、**「このような自分が好き」**と言える子どもに育てて欲しいと願っています。「自分が好き」と言える子どもは、友だちの気持ちを受け止め、相手の立場に立って考え、行動することができる子どもです。自分と友だちの違いを認め、共に生きる喜びを感じることができる子どもです。

子ども同士のかかわりが安定している学校は、子どもたちに安心感や自己有能感がはぐくまれます。今年度は、「自分が好き」と言える子どもをはぐくむために、**活動の節目、節目の場面で、この言葉を子どもたちに投げかけ、一緒に考えていきたいと考えています。**

本年度の学校の教育活動に対する、保護者・地域の皆様の一層のご理解と支援をお願いいたします。

図書館ボランティア 募集

平成27年度のボランティア登録者は、13名でした。活動としては、昼休み時のお話会、本の整理・修理に加え、各教室での朝の読み聞かせを計画し、分担して実施していただきました。特に、朝の時間に読み聞かせをしていただいたことにより、子どもたちは、読書への関心・意欲を高め、大変落ち着いた雰囲気、学校生活をスタートさせることができました。

後日、募集案内が出ます。奮ってご支援をお願いします。



お昼休みの「お話し会」

今年度の稲田小学校のスタッフ

平成 28 年度の稲田小学校の職員を紹介いたします。6 名の転入職員を迎え、総勢 35 名が気持ちを新たにがんばります。ご支援、ご協力をお願い申し上げます。

校 長	齊藤 崇	わかくさ 1 組担任	○水越 美穂
教 頭	※ 西條 敏一	わかくさ 2 組担任	須藤志雅子
教務主任	柳澤 登	わかくさ 3 組担任	小松 康一
養護教諭	鳥山 昌子	非常勤講師	※ 本間 佑
主 任	※ 比護 文栄	専科非常勤講師	金子 千春
1 年 1 組担任	○渾川久仁子	教育補助員	原 こず枝
2 組担任	加藤 史郎	介護員	植木 容子
2 年 1 組担任	○伊藤 真澄	介護員	大場 雅恵
2 組担任	加藤 和宏	介護員	※ 渡邊 紀行
3 組担任	大友 裕子	用務員	長崎 新一
3 年 1 組担任	○長谷川裕美	栄養教諭(兼務)	滝澤 悟
2 組担任	丸山 考平	調理員	黒津 美恵子
4 年 1 組担任	○橋本 和士	調理員	野口 栄子
2 組担任	渡邊 恵	調理員	小林 直実
5 年 1 組担任	○須山 哲也	調理員	※ 風間 理沙
2 組担任	※吉崎須賀子(森田愛美)	調理員	()
6 年 1 組担任	○細谷理恵子	図書館補助員	北岡 愛
2 組担任	伊藤 和人	○印は学年主任 ※印は今年度転入職員	

今年の運動会、音楽発表会予定

1 学期の大作である運動会は、今年は5月28日(土)となっています。新学期始まって1 か月少々での開催となります。今からご予約に入れてご来校、参加・応援をよろしくお願いします。

また、当校では、秋に音楽発表会と文化祭(作品展示)を隔年で行ってきておりますが、今年度は音楽発表会の年になります。開催期日は、10月15日(土)です。

なお、今年度は、東北大震災で被災した「奇跡の一本松」でヴァイオリンを製作し、「千の音色でつなぐ絆」プロジェクトでご活躍中のヴァイオリンドクター中澤 宗幸氏とヴァイオリニスト中澤きみ子氏をお招きしての講演会・演奏会も併せて計画しております。

是非、今からご予約に入れ、ご鑑賞をお楽しみください。

トピック 稲田小・ほっとコーナー

このコーナーは、歴史と伝統の上に築かれた稲田小学校や稲田地区の宝を、教職員の目であらえてお伝えしてきています。本年度も、学校内外での子どものよさや地域のよさに目を向けた「ほっとする話題や場面、事柄」を取り上げていきます。今月の担当は、教頭 西條 敏一です)

ファイルNo.1 街中原風景

生まれも育ちも三和区(旧三和村)の私にとって、町といえば稲田でした。その先は、イメージにありませんでした。雁木があり、老舗のお店があり、買い物は稲田と決まっていました。行き来は、車掌付きのバス。その独特の町のおいを感じた4月初旬でした。そして、学校の4階から見える風景は、グラウンドの横に満開のピンクの桜、後ろには、はね馬がくっきりと浮かび上がった白と黒の美しい妙高山、とうとうと流れる関川。どれをとっても、昔から息づく街中原風景を感じます。このゆったりとした空間と、時間がきっと子どもたちの体の中に生まれた時から備わっていることでしょう。毎日この街中を通れる自分は、幸せです。